

2023

攻玉社データブック

次代を創る人材にー

KOGYOKUSHA DATABOOK



〒141-0031 東京都品川区西五反田5-14-2

TEL:03-3493-0331 (代表)

FAX:03-3495-4004

攻玉社

検索

<https://kogyokusha.ed.jp/>

入試に関するお問い合わせは広報企画部まで

TEL:03-3495-8160 (広報企画部)

学園のあゆみ	01-02
受け継がれる攻玉社精神	03-04
学校生活 Q&A	05-07
クラブ活動状況	08
国際学級 Q&A	09-10
教育目標・カリキュラム	11-12
年間行事予定	13-14
出身小学校一覧	15-16
入学試験 Q&A	17-18
入試要項	19-20
主な大学合格実績	21
説明会日程ほか	22

創立者・近藤真琴先生

本校の創立者である近藤真琴先生は、天保2年（1831年）に鳥羽藩士近藤家の次男として、江戸麹町の鳥羽藩上屋敷に生まれました。早くに父を亡くしましたが、教育熱心な母から漢籍の素読を受けて育ち、成人してからは蘭学、数学、航海・測量術、兵学などのほか、独学で英語やドイツ語をも習得するなど、博学多才の士として我が国の教育界に大きな業績を残しました。



近藤先生は数学や航海学、地質学の教科書をはじめ、国語辞書や文法書、洋書の翻訳書など、驚くほど多岐にわたる分野の著書を著した。



明治9年（1876年）には女子科も設置された。



本校創立者・近藤真琴先生（1831年～1886年）

校地・校舎の移り変わり

江戸四谷坂町の鳥羽藩邸内に開いた攻玉塾は、その後、移転や焼失などさまざまな変遷をたどることになります。
新政府のもとで近藤先生は東京・築地の海軍操練所で教鞭をとることになり、それに伴い明治2年（1869年）、塾も操練所内の官舎に移りました。
さらに明治4年には、三田に移った慶應義塾の土地と校舎を福沢諭吉から購入し、芝新銭座（現・港区浜松町）に移転。明治5年には校名も攻玉社と改称され、以後、大正に至るまで芝新銭座の地で各種の教育を展開していきました。
しかし、大正12年（1923年）の関東大震災により、校舎は全焼。これを機に校地移転を決定し、大正14年（1925年）9月、現在の地に移転しました。その後も太平洋戦争中の空襲による火災などの憂き目に遭うものの、戦後は再建と拡充につとめ、平成15年（2003年）には旧校舎を解体し、現在の姿に生まれ変わりました。



昭和45年頃の校舎全景

優秀な人材を輩出

本校は創立以来、国家・社会に有為にして国際社会に貢献する多くの人材を送り出してきました。
明治・大正・昭和・平成——それぞれの時代の要請に応じて、海軍や海運、政界、実業界、また学術・芸術の分野、土木などの技術分野、さらに近年は医学分野への進出も目覚ましく、卒業生たちはそれぞれの分野において本校で培った攻玉社の精神と実力を遺憾なく発揮しています。



不動前駅の様子（昭和13年）「目黒蒲田電鉄」と記されている。



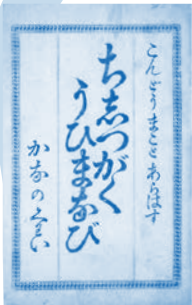
明治19年（1886年）に設置された専修数学科では、当時の最高レベルの教育を受けることができ、「数学の攻玉社」と称された。



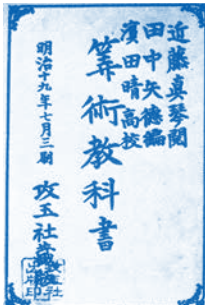
4号館2階の学園資料展示室では、本校が所蔵する近藤真琴先生の著書、書簡、書画、草創期の学園資料等、またこれまでに輩出した著名人のパネルなども公開・展示しております。

攻玉社の開学

文久3年（1863年）、その教えを請う者たちの求めに応じて、近藤先生は江戸四谷坂町の鳥羽藩邸内の自宅に私塾を興しました。塾生は20名ほど。後に攻玉塾と呼ばれたこの私塾こそが、以来1世紀半にも及ぶ本校の歴史の始まりです。
慶応3年（1867年）に大政奉還となり、幕藩体制は終焉を迎えましたが、先生はいち早く新しい日本にふさわしい教育の必要性を痛感し、私財を投じてわずか数年のうちに、幼年科、航海測量習練所、女子科、陸地測量習練所、専修数学科、海軍別科、鳥羽商船分塾など、驚くほど多種多様の学校を展開していきました。
近藤先生こそは我が国における学校教育のパイオニアの一人であり、後には明治六大教育家の一人として称えられました。また、当時の攻玉塾は理数系の塾として、福沢諭吉の慶應義塾、中村正直の同人社とともに東京の三大義塾の一つに数えられました。



地質学の入門書



算術教科書

攻玉社のあゆみ

年号		出来事
1863年 (文久3年)		江戸四谷坂町鳥羽藩邸内に開学塾を開く。 創立者・近藤真琴（こんどう・まこと）は、数学・航海術・測量術に秀でた蘭学者であった。
1869年 (明治2年)		真琴、兵部省に出仕。築地海軍操練所のちの海軍兵学校内に塾を移す。塾名を「攻玉塾」とする。
1872年 (明治5年)		文部省より学制が頒布され、私塾から学校としてあらためて開学した。塾則が定められるとともに、幼年科の設置、教育課程の確立等、全般にわたって近代的に充実・整備される。なお、現在の校訓「誠意・礼譲・質実剛健」は、この塾則をもとにしたものである。
1875年 (明治8年)		わが国最初の航海測量習練所（商船学校）を設置。
1880年 (明治13年)		陸地測量習練所（土木測量）を開設（攻玉社短大の前身）。
1881年 (明治14年)		三重県鳥羽に商船学校の分校（現在の国立鳥羽商船高等専門学校）の前身を設置。
1886年 (明治19年)		9月4日、近藤真琴没。享年56歳。この秋、商船学校を廃止。
1889年 (明治22年)		海軍を志願する者のために海軍予備科を設置。これはのちに海軍中学校と改称され、やがて尋常中学校に合併された。
1893年 (明治26年)		青年科が尋常中学校としての認可を得る。
1925年 (大正14年)		9月芝新銭座から、品川区西五反田の現在地に校舎を新築して移転。丘上にそり立つ白亜の鉄筋コンクリートの校舎が生徒たちの新しい人間形成の場となる。
1931年 (昭和6年)		攻玉社商業学校を開設。
1947年 (昭和22年)		学制改革により、新制攻玉社中学校発足。翌48年、新制攻玉社高等学校発足。
1954年 (昭和29年)		攻玉社高等学校商業科を独立して、攻玉社商業高等学校として発足。
1963年 (昭和38年)		創立者・近藤真琴が四谷坂町に開学塾を創立して以来の100年を記念する式典を日比谷公会堂において行う。
1966年 (昭和41年)		6年一貫英才開発教育を始める。
1974年 (昭和49年)		商業高等学校休校（1995年11月廃止）。
1983年 (昭和58年)		日比谷公会堂において創立120周年記念式典を盛大に行い、記念事業として新校舎、地下温水プール等を建設する。
1988年 (昭和63年)		攻玉社後援会設立。
1990年 (平成2年)		国際学級開設。
1993年 (平成5年)		渋谷公会堂において創立130周年記念式典を行う。
1995年 (平成7年)		特別教室を収容する中層棟（現2号館）完成。
2003年 (平成15年)		地下2階体育館兼講堂・地上7階の新校舎（1号館）および校庭完成。東京簡易保険会館「ゆづり」において創立140周年記念式典を行う。
2007年 (平成19年)		工科短期大学の募集を停止。（2008年12月廃止）
2009年 (平成21年)		3号館を改修。
2010年 (平成22年)		5・6年次のクラスを8クラス編成とする。
2013年 (平成25年)		グランドプリンスホテル新高輪において創立150周年記念式典を行う。
2015年 (平成27年)		併設型中高一貫教育校に移行。



卒業生総数：62,629名

- ・中学（昭和22年～令和4年3月）45,282名
- ・高校（昭和23年～令和4年3月）17,347名

受け継がれる攻玉社精神



大熊 慧さん

SATORU OKUMA

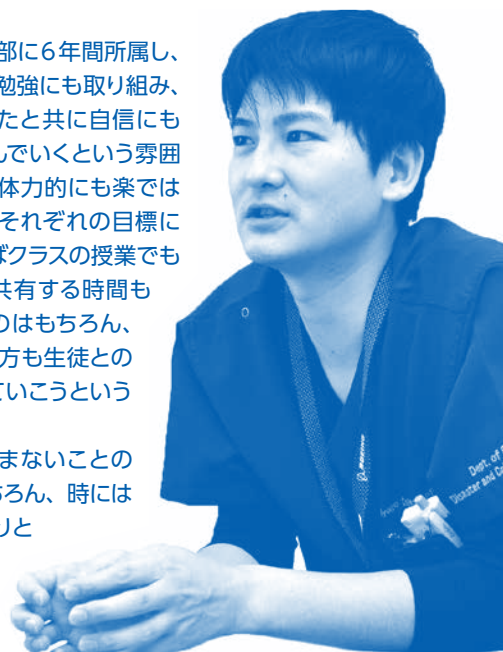
■経歴■1988年生まれ。2001年攻玉社中学校に入学。2007年兵庫医科大学入学。2013年同大学を卒業。同年日本医科大学武蔵小杉病院入職。現在に至る。

2007年(平成19年)卒業
日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科医師

「文武両道」の6年間。志高く、仲間と切磋琢磨し目標を掴み取る。

良い意味で自分を厳しく鍛えることができた学校生活だったと思います。私は野球部に6年間所属し、部活、勉強共に全力で打ち込みました。仲間たちと練習に励みながら、同時並行で勉強にも取り組み、目標だった医学部への合格を掴み取れたのは大きな達成感を感じることができたと共に自信にもつながりました。攻玉社はクラスの仲間たちと「競争」ではなく「協力」して前に進んでいくという雰囲気でした。部活動に取り組みながら大学受験に向けて継続して勉強を続けるのは体力的にも楽ではなかったですが、それを乗り越えることができたのは、仲間と共に協力しながらそれぞれの目標に向かって頑張っていく、という校風だったことがとても大きかったと思います。例えばクラスの授業でも先生が一方向的に授業をするのではなく、生徒が解法を教え合う、自分の知識を共有する時間も設けられていました。こういった機会があることで、知識の定着の効率が高まるのはもちろん、助け合う、協力し合うという空気をつくることができていたのだと思います。先生方も生徒との距離が近く、相談にも親身に乗ってくれたため、まさにクラス一丸となって頑張っていこうという環境ができて上がっていました。

なりたかった医者という職業に就いて、今思うことは中高の6年間、努力を惜しまないことの大切さです。学生生活は多感な時期ですし、いろいろな誘惑があると思います。もちろん、時には遊ぶことも大切ですが、大学生、社会人になった時に自分がどうありたいかをしっかりと見据えて毎日を送ることが大切です。そうすることで、今よりもさらに楽しく、充実した未来を掴み取ることができると思います。その環境が整っているからこそが攻玉社の一番の魅力だと思います。



富家 規政さん

NORIMASA FUKE

■経歴■1962年生まれ。1974年攻玉社中学校に入学。1980年玉川大学演劇科入学。大学2年次で中退し芸能事務所に所属、俳優キャリアをスタート。1983年NHK連続テレビ小説「おしん」でデビュー。以来、テレビドラマを中心に映画、舞台、CMなどで活躍。2016年山梨県のやまなし大使に任命される。

1980年(昭和55年)卒業
俳優

脈々と受け継がれる攻玉社のDNAが今の自分を形作っている。

今の攻玉社は都内屈指の進学校ですが、私が在学していた40年ほど前はバンカラな学生もいました。実は私もその一人で、先生方によく叱られたものです。当時はアメリカンフットボールが人気で、その影響を受けて生徒同士で同好会を作りました。そのまま中学・高校ではアメフトに熱中して、勉強とスポーツに明け暮れていました。

攻玉社は生徒数がそれほど多くないので先生の目が行き届いていて、教育指導は厳しいものの、何かあればいつも親身になって相談に乗ってくれました。大学受験の時もそうです。アメフトが盛んな大学に進学が決まっていたのですが、練習中に大怪我をしてしまい断念せざるを得なくなりました。担任の先生は早慶の受験を薦めてくれたのですが、私はアメフトとは別に以前から興味のあった演劇の道に進みたく、そのことを先生に打ち明けたところ、「お前らしいな。好きな道に行けばいい。」と背中を押してくださいました。

思春期というのはその人の精神構造をつくるにあたりとても貴重な時間です。男子校で中高一貫というのは少々特殊な環境ではありますが、あの6年間が確実に今の自分を形成している一部となっているので、攻玉社で育ったことはすごくいい経験だったなと感じます。私が卒業してから随分と経っているので時代の流れとともに当時とはいろいろと変わりましたが、学校自体がもつカラーや空気感というのは変わらないと思います。学生の時は気づかなくても大人になってからじわじわと実感できるようなので、脈々と受け継がれる攻玉社のDNAを在学中にできる限り多く吸収してほしいです。



村舘 靖之さん

YASUYUKI MURADATE

■経歴■1979年生まれ。1992年攻玉社中学校に入学。1998年東京大学文科Ⅲ類入学。2012年同大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学。2012年より東京大学大学院情報学環特任助教、特任研究員を経て、2015年博士(社会情報学)取得。2015年から2017年まで東京大学大学院情報学環特任講師。国立情報学研究所勤務を経て、2018年内閣府計量分析室勤務。現在に至る。

1998年(平成10年)卒業
内閣府計量分析室 政策企画専門職

攻玉社の学校生活は、校訓に「誠意・礼譲・質実剛健」とあるように、勉強面だけでなく生徒一人ひとりの精神面の育成にも力を入れているところに大きな特徴があると思います。例えば、今でも印象に残っているのが遠泳や耐久歩行です。はるか先にあるゴール地点を休むことなく目指すのは非常に大変ですが、そういった行事で鍛えられた粘り強さや忍耐力は大きな財産となっています。

先生方も非常に熱心な方が多く、進路や将来のことをはじめ、さまざまな相談に親身に乘ってくださいました。私は文系学部に進むか理系学部に進むか迷った末に文転した経験があるのですが、その際にも相談相手になってくれた先生は私にとって大きな支えになりました。現在は内閣府で経済予測に携わる仕事に就き、金利動向や経済成長率などさまざまな要素を加味しながら、国の財務状況をシミュレーションしています。国の未来をサポートする仕事に非常にやりがいを感じながら働くことができていますが、今の充実した毎日も学生時代から将来としっかり向き合い、悩み抜き、そしてそれをサポートしてくれる方々がいたからこそだと思います。

また、攻玉社にはテレビのアナウンサーや経営者、学者などさまざまな業界の第一線で活躍している人がとても多いです。今思うと、そういったさまざまな才能を持った仲間たちと共に6年間の学校生活を送れたことは、自分にとってとてもプラスになったと思います。これから攻玉社に入る人にも、周囲の人への感謝や同級生との友情の大切さを学びつつ、切磋琢磨しながら実りのある学校生活を送ってもらいたいです。攻玉社はそういった、人として大切な精神性を学びながら、それぞれの目標に向かって頑張ることができる、魅力的な場所だと思います。



優秀な仲間に出会って、心身共に大きく成長できる。



増田 裕平さん

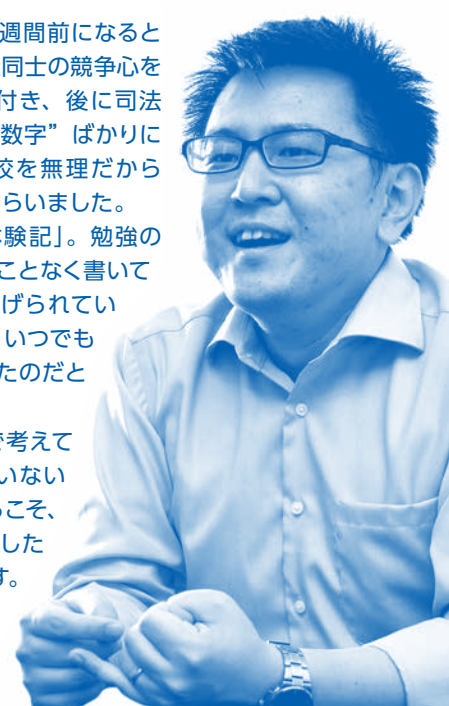
YUHEI MASUDA

■経歴■1988年生まれ。2000年攻玉社中学校に入学。2007年慶應義塾大学法学部政治学科入学。2011年同大学を卒業。同年早稲田大学大学院法務研究科入学。2013年修了。同年司法試験に合格し、司法修習生に。2015年株式会社三井住友銀行入行。現在に至る。

2006年(平成18年)卒業
株式会社三井住友銀行 総務部 弁護士

私が通っていた当時は、普段は和気あいあいとした雰囲気でしたが、定期試験の一週間前になると仲間内で自主的に「勉強しよう!」という雰囲気に。試験の点数や順位も出るので、生徒同士の競争心を煽る仕組みがあったのかもしれません。自然と短期集中型の学習スタイルが身に付き、後に司法試験に挑んだ際にもこの方法がとても効果的でした。また、先生達が受験に対する“数字”ばかりにこだわらず、親身に指導してくれたのが良かったと思います。私の場合も、志望校を無理だから変えろとは指導されず、目指すなら難しいところに臆せず挑戦しろと背中を押してもらいました。受験の時に役立ったのが、中学入学時から毎年配布されていた先輩たちの「合格体験記」。勉強の仕方や使っていた教材、苦手科目だけ塾に通っていたといったリアルな体験が、隠すことなく書いてあり、身近な先輩の体験談を参考にできるというのは心強く助かりました。ねじ曲げられていない情報を沢山与えてもらい、その中から自分自身で選択し実践する。先生たちは、いつでも手伝うよというスタイル。そうやって受験勉強を通じて自主性を伸ばしてくれていたのだと思います。

攻玉社では人とのコミュニケーションの取り方を学びました。それから、自分の頭で考えて選び取ることも。これからの先行き不透明な時代、答えもなく、教えてくれる人もいない中では、人間的な逞しさや、気持ちの強さは大事だと思っています。こういう時だからこそ、やっぱり「楽しく」とか「面白く」というのを大切に生きていきたい。攻玉社はそうした生き方を大切にしている学校だったから、それが今も自分の中に生きていく気がします。



答えの見えない時代に挑む、逞しさを培った6年間。

Q 6年間で2年ずつ3つのステージに分けているようですが、各ステージのねらいを教えてください。

A 一貫教育の利点を生かし、それぞれのステージにおいて生徒の成長に応じたきめ細かい指導を行うことができます。各ステージのねらいは次のとおりです。

■ステージ 1(1年～2年)

基礎学力を養成・充実させる

この時期に大切なことは、規律ある学校生活を行い、基礎学力をしっかりと身につけることです。学習の習慣づけ、勉強に励むための体力づくりなど、学習への全般的な取り組みも指導していきます。

■ステージ 2(3年～4年)

学ぶ意義を理解させつつ、次のステップへ

3年生は高等学校の学習内容（特に英語・数学）に入るため、部活動と勉強の両立を考える時期となります。何のために学ぶのか、その意義を理解させるよう指導していきます。ステージ2の2年間は選抜学級も設置されます。また、この時期からキャリアガイダンス講演会や進路講演会（4年生）、適性検査などを実施することで、将来への進路、自分の適性や能力などを知る機会を設けていきます。

■ステージ 3(5年～6年)

明確な目的をもって挑戦させ、自己実現をはかる

最高学年として学校行事や部活動で中心的な役割を担い、人間としての成長をはかり、志望大学現役合格に向けて生徒同士が互いに切磋琢磨できる環境です。クラスは国立公立大学か私立大学か、文系か理系か、希望進路に応じて少人数クラスに分かれます。目標の定まった生徒には具体的な受験指導を開始し、勉強方法がまだ確立していない生徒に対してはさまざまな角度からアドバイスを行うなど、学校全体で一人ひとりを強力にサポートしていきます。

Q 授業の進度がかかなり速いと言いましたが、ついていけるのでしょうか。また、予備校や塾に行く必要はありますか。

A 予習・復習を中心とした家庭学習の習慣づけが肝心です。受け身の姿勢で、問題意識も持たずにただ授業を続けているだけでは、学習内容も定着せず、ついていけない場合も出てきます。個人の差が出てくるのは、特に国語・数学・英語の3教科です。これらの教科はそれぞれ週5～6時間授業があるので、中学2年までに中学校課程を修了しても決して早くはないはずですが。たとえば数学は中学2年までに中学課程の教科書を修了し、中学3年で数学A・数学Iの内容まで学習します。英語は、中学3年間、中高一貫校向けのテキストを使用しています。社会・理科も時間数を多く設定し、高校で学習する内容の一部を、中学で学んでいます。努力不足の生徒には指名制で補習授業を実施し、遅れないように指導します。また、進んだ内容を勉強したいという意欲ある生徒には、特別講習を実施しています。日頃の授業をしっかり受けてもらうことが第一で、必ずしも予備校や塾に行く必要はありません。

Q 選抜学級について教えてください。

A 6年間の長い学校生活がめぐるま湯にならぬよう“刺激”を与える意味でも、ステージ2にあたる3年と4年で選抜学級を1学級設けています。2年次年度末の成績等を総合的に判断してクラスを編成し、3年から4年への進級時にも入れ替えを行っています（総合的に判断するための客観的な基準が設けてあります）。

Q 昼食は必ず弁当持参なのですか。

A 昼食は弁当持参が原則ですが、1号館1階の生徒ホールには食堂があり、定食やパン、飲料などが購入できます。ランチタイムは、教室のほか生徒ホールでも食事をとることができます。校外へ出て、店などで昼食を買うことは禁止です。



Q 部活動はどんな様子ですか。また、どこで練習を行っているのですか。

A 活動日については週に1日から6日までさまざまですが、どのクラブも仲良く、楽しく活動しており、上級生は下級生の面倒を良く見ています。運動部は、全国大会や関東大会、都大会に進出し、活躍する部も多くあります。活動は校内以外では、近くにある「林試の森公園」の広場（運動用グラウンドではない）や多摩川河川敷の公共グラウンド（抽選）で行うこともあります。また、文化部は学園祭に参加する部が多く、参加団体の大部分を占めています。外部のコンクールや大会に参加する部もあります。各クラブの活動状況については、8ページをご覧ください（ただし、活動日・場所等は変更されることがあります）。

Q 運動部、文化部のほかに同好会や愛好会もあるようですが、自分たちで新たに創設することはできるのですか。

A 生徒の希望により、規定の要件を満たせば、新しいクラブを立ち上げることができます。そのため、年度により愛好会や同好会は増減が起こります。ただし、愛好会は5名以上、同好会は15名以上の構成員が必要で、要件を2年間続けて満たすと、愛好会→同好会→部への昇格も可能です。

Q 平日の1日のタイムテーブルを教えてください。また土曜日に授業はあるのですか。

A 始業は8時30分（8時20分までに登校）、終業は15時です。1限から6限まで、授業前には必ず黙想を行って気持ちを切り換えます。土曜日も午前中は平常授業を行い、12時30分に終了します。本校の教育課程を実施し、部活動の時間を確保するためにも、週休2日にはしていません。

Q 制服や服装について教えてください。

A 制服・カバンは学校指定のものと決められています。冬服は紺色の詰襟、夏は胸に学校のマークが入った白無地のワイシャツに紺色のズボンとなっています。なお、ベスト、セーターの購入は自由です。学校指定ではありませんが、コートの購入もできます。靴は決められてはいませんが、黒の革靴や運動靴などを着用とし、華美なものは避けてください。



Q 校則や生徒指導は厳しいのでしょうか。また、携帯電話は持って登校できますか。

A 明るい雰囲気为学校生活が送れるように考えていますが、校則は当然あります。長髪や毛染めなどは禁止しています。生活指導の根本は、生徒に校則を守らせるということにあるのですが、生徒に校則を守ろうという気持ちにさせないと駄目です。したがって、生徒との対話を通じ、生徒一人ひとりの個性をしっかりと把握して指導することを基本としています。また、携帯電話は校内持込み禁止です。



TIME TABLE

登校 8:20	
ホームルーム 8:30 始業 8:40	授業開始の3分前には予鈴の校歌が流れます。
1限目 8:40～9:30	
2限目 9:40～10:30	午前中の授業は1～4限。教員・生徒ともに真剣に授業に取り組みます。
3限目 10:40～11:30	
4限目 11:40～12:30	楽しいランチタイム。お弁当持参が原則ですが、授業が終わると、一目散に食堂のある生徒ホールに駆けつける生徒もいます。
12:30 昼休み	午後の授業は5・6限の2時間があり、基本的には終業は15時です。土曜日は12時30分までとなります。
授業開始 13:10	
5限目 13:10～14:00	
6限目 14:10～15:00	終業後はホームルームが行われます。
終業 15:00	1日の授業が終わりほっと一息。帰宅前に教室や図書室、あるいは自習室で勉強する姿も見られます。
放課後	放課後は部活動でエネルギーを発散。運動部・文化部ともに活発に活動しています。（11月～1月は17時、2～10月は17時半まで）
下校	

学校生活 Q&A

Q 校則を守るように、生徒に対してどのような指導をしていますか。

A 創立者の近藤真琴先生が指導されたことを引用して、現在も変わらないことを伝えています。「すべての規則というものは集団生活を円滑に行うためにつくられたものですから、きちんと守らなければなりません」と伝え、規則が社会生活維持のためにあることを理解させます。

Q いじめや不登校などあるのでしょうか。あるとすればどのように対応していますか。

A 時々いじめと思われることが起こります。いじめと判断された場合、学級主任と学年所属教員が協力して双方の生徒から事情・状況を聞き出し指導を行っています。また、ほとんどの生徒は明るく素直に学園生活を送っていますが、悩みを持つ生徒もいます。そのような生徒の悩みや保護者の相談を受けるため、スクールカウンセラーを配置しています。学級主任はもちろん、学校として生徒・保護者の相談に常時応じられるようにしています。原因はさまざまですが、不登校の生徒がいた場合は生徒や保護者とよく話し合い、原因を探る努力をします。またスクールカウンセラーと連携をとりながら、学校に再び登校できるよう支援しています。



Q 生徒たちは放課後どのように過ごしていますか。

A 放課後の生徒たちは、「特別講習・補習に参加する」、「クラブ活動に参加する」、「自習する」など、さまざまな過ごし方をしています。特別講習と補習は、英語・数学・国語において、それぞれ希望制と指名制で週1回実施しています。自習する生徒たちは、HR教室、自習室、図書室などを利用して自主的に学習に取り組んでいます。

Q 入学してから親の転勤で海外に転校し、また戻ってきた場合は、復学できますか。

A 高校2年1学期末までであれば当該学年に編入できます。再入学試験は実施しません。仮に中学1年の2学期に海外へ一家転住する場合、手続上いったん退学していただきますが、復学は可能です。高校2年以降は4コース（文Ⅰ・Ⅱ、理Ⅰ・Ⅱ）に分かれるため、クラスの定員等を考慮して、それぞれの学級に所属させます。

Q 成績不振者は攻玉社高等学校に進学できないのでしょうか。

A 中高6年一貫教育が原則なので高等学校へ進学させます。学習習慣をつけさせ、基礎学力が身に付くよう指導しますが、一部不登校などを理由に成績不振となった場合は、保護者や本人と今後の進路についてよく話し合うことにしています。

Q 災害発生時などの危機管理について、どのような対策や指導を行っていますか。

A 通常の防災訓練は年に2回実施し、防災の日である9月1日には下校訓練を行っています。救命用のAEDは校内4箇所に設置されており、教員は全員講習を受け、希望生徒に対しても毎年講習会が開かれます。さらに災害時の対応策として、ラインネット（一斉配信メール）やホームページを活用する態勢がとられています。また、全生徒が3日間生活できる「食糧」「飲料水」「毛布」等を備蓄しています。発電装置・吸水ポンプ・簡易トイレ袋等も常備し、生徒には全員に災害用の携帯袋を持たせています。



携帯袋の中には、三角巾、軍手・タオル（圧縮セット）、サバイバルシート、呼び笛、LEDライト、カットパンが入っています。

クラブ活動状況

運動部…14／文化部…12／同好会・愛好会…12

運 動 部	部員数		月	火	水	木	金	土	日	場 所
	高校	中学								
硬 式 野 球 部	23	-	○	○			○	○	○	鶴の木グラウンド
中 学 野 球 部	-	36		○			○	○	○	鶴の木グラウンド・校庭
剣 道 部	9	25	○	○	○		○	○	○	剣道場
柔 道 部	18	12	○	○		○		○		柔道場
水 泳 部	11	17	○	○	○		○	○	○	温水プール
陸 上 競 技 部	30	26	○	○	○		○	○	○	校庭・競技場・他
サ ッ カ ー 部	42	65	○	○		○	○	○	○	多摩川・天王洲・校庭
テ ニ ス 部	38	24	○		○		○			校庭・多摩川・他
ソ フ ト テ ニ ス 部	45	42		○		○		○	○	校庭・他
バスケットボール部	36	60		○			○	○	○	体育館
バ レ ー ボ ー ル 部	18	28	○		○	○		○		体育館
バ ド ミ ン ト ン 部	52	70	○			○				体育館
卓 球 部	31	37		○	○			○		卓球場
ス キ ー 部	30	35	○		○					校内トレーニングルーム・林試の森公園

文 化 部	部員数		月	火	水	木	金	土	日	場 所
	高校	中学								
吹 奏 楽 部	33	27		○	○		○	○		音楽室・視聴覚室・他
美 術 部	4	3	○							美術室
コ ン ピ ュ ー タ 部	18	14			○		○	○		物理実験室
理 化 学 部	15	25						○		化学実験室
生 物 部	13	23	○					○	○	生物実験室・標本室・林試の森公園
写 真 部	11	4	(不定期)							暗室・他
鉄 道 研 究 部	14	31			○			○		文化部倉庫
歴 史 研 究 部	26	24						○		教室
将 棋 部	31	18			○		○	○		教室
ガ ン ダ ム 研 究 部	14	18			○			○		教室
攻玉社ボランティア部	12	15	(不定期)							氷川神社清掃・募金活動等
レ ゴ 部	9	24	(不定期)							美術室

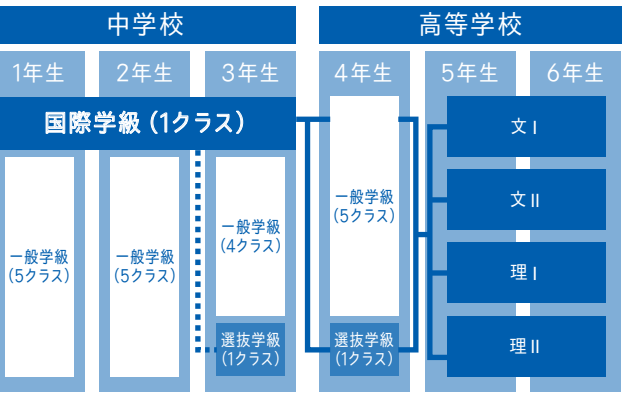
同好会・愛好会	部員数		月	火	水	木	金	土	日	場 所
	高校	中学								
放 送 同 好 会	11	8	○				○			放送室
英語ディベート同好会	13	17	○		○					教室
トレッキング同好会	9	6				○				教室
クイズ研究愛好会	20	23				○	○	○		教室
文 芸 愛 好 会	6	0		○			○			教室
数 学 研 究 愛 好 会	10	11		○						教室
メディア研究愛好会	5	1				○				教室
囲 碁 愛 好 会	5	6			○					教室
地 政 学 研 究 愛 好 会	2	6						○		教室
A A A	0	14	○		○					教室
折 り 紙 愛 好 会	7	1	○			○				教室
インディアカ愛好会	11	10				○				剣道場

上記は昨年度のデータです。各部の活動日や場所は変更される場合があります。※2022年2月現在の部員数です。

Q 国際学級は3年間、クラス替えはないのですか。

A 国際学級の生徒は、右ページの「海外在留地」のデータに見るとおり、世界各国からの帰国生で編成されています。中には帰国したばかりで、まだ日本の生活に慣れていない生徒も見受けられます。そこで、異文化での体験を生かしながらも日本の生活環境に適応していけるよう、国際学級は帰国生だけで1クラスを編成し、独立した3年間を送れるようにしています。

6年間の編成



※5・6年生において少人数制8クラス編成とし、「I」は主として私立大学、「II」は主として国立大学志望者のクラスです。

Q 3年生のときに選抜学級に移ることはあるのですか。

A はい。2年の学年末に、成績優秀でかつ本人が移籍を希望する場合は、選抜学級に移籍し、一般学級からの生徒とともに学習することがあります。

Q 海外といっても英語圏ではなかったのに、英語は話せないのですが…。

A 英語が話せるかどうかに関しては、滞在地域により大きな差があります。そのため、授業はクラスを分割して行っています。すでにバイリンガルの生徒に対しては、身につけた語学力をさらに伸ばすように、またそうでない生徒には、一般学級の生徒と同様、基礎から親身に指導しています。



Q 授業についていけるかどうか、不安です。

A 英語の授業と同様、数学と国語についても分割授業を実施して、理解が遅れがちな生徒が出ないように工夫した授業を展開しています。

Q 一般学級の生徒とは交流はありますか。

A 学校行事やクラブ活動など、授業以外はすべて一般学級の生徒たちと行動をとりますので、国際学級の生徒にとっては一般学級生徒との交流を通して日本の生活に慣れることができます。一方、帰国生の異文化体験は一般学級の生徒にとってもまた大きな刺激となり、お互いにより実りのある学校生活が送れるという、相乗効果が生まれています。

Q 国際学級でいじめが発生した場合は、どのように対応されているのですか。

A 一般的に帰国生は海外生活が長いほど個性が強く、互いに主張しあうことも少なくありません。豊かな個性を持つ生徒が多いのは国際学級の特長のひとつとも言えますが、一方でこれらの生徒に対しては、日本の文化を理解させ真の国際人として互いに協調することの大切さ、すなわち個を大切にしながら互いを認め合うことの大切さを理解させるよう指導しています。もちろん、いじめ行為があった時は、一般学級と同様、いじめられた生徒のいたみを理解させるよう、厳しい指導を行っています。



Q 国際学級からの大学現役合格はどのような状況ですか。

A 国際学級の生徒は4年生から一般学級生徒と一緒にクラスになり、切磋琢磨します。本校のきめ細かい進路指導と課外講習等の進学対策を受けることで、高い現役合格率を維持しています。帰国生だけの現役合格者数を右ページに、また本校全体の最近3年間の大学合格実績は21ページに掲載しましたので、併せてご覧ください。

■海外在住期間（～年以上）（人）

	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
国語・算数	8	14	10	4	1	1	1	2	1	0	0
英語	2	4	6	4	4	4	2	0	1	1	1

■帰国した時の学年

	3年生	4年生	5年生	6年生	直接受験
国語・算数	3	14	8	8	9
英語	2	3	11	6	7

■海外で通っていた学校（人）

	日本人学校	現地校	インターナショナル
国語・算数	17	12	13
英語	3	20	6

■英語検定合格者（英語受験者のみ）

	1級	準1級	2級	準2級	なし
英語	2	20	5	0	2

■海外在留地（最終在留地）（人）

	アメリカ	カナダ	メキシコ	イギリス	フランス	ルクセンブルク	ドイツ	オーストリア	中国(含む台湾)
国語・算数	6	0	1	2	2	1	1	1	10
英語	11	2	0	7	0	0	0	0	4
	韓国	シンガポール	マレーシア	タイ	ミャンマー	ベトナム	インド	オーストラリア	アラブ首長国連邦
国語・算数	1	8	2	2	1	1	1	1	1
英語	0	0	1	0	0	1	0	1	2

■選択科目別の受験者数と合格者数

			2022年	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年
第 1 回	国・算	受験者数	84	70	75	85	109	84	114	103	92	104	105	118
		合格者数	42	35	37	38	42	45	44	42	49	50	44	53
	英語	受験者数	52	55	70	87	67	71	66	82	81	73	58	69
		合格者数	29	32	33	39	37	42	35	46	42	48	36	37
第 2 回	国・算	受験者数	実施なし										26	21
		合格者数											2	4
繰 り 上 げ 合 格				－	－	－	－	－	12	－	－	－	6	－

■国際学級出身学校別入学人数（海外在住時の最終出身学校）（人）

	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年
日本人学校出身者数	13	8	12	11	12	7	10	15	24	13	13
現地校出身者数	20	22	19	27	24	28	26	31	18	24	23
インターナショナル校出身者数	8	11	11	8	9	16	9	11	5	8	6

■帰国生徒の大学合格者一覧（現役）（人）

	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年
卒業生数	30	45	41	41	43	44
東京大学	1	3	2	4	1	4
京都大学	0	0	0	1	0	0
東京工業大学	1	0	1	1	1	1
一橋大学	1	0	0	1	1	1
東北大学	1	0	0	0	0	2
名古屋大学	0	1	0	0	0	1
大阪大学	0	0	2	0	0	1
九州大学	0	0	0	1	0	0
千葉大学	0	0	0	1	0	0
東京農工大学	0	0	0	1	0	0
東京外国語大学	0	2	1	0	1	0
横浜国立大学	0	1	0	0	1	0
滋賀医科大学	0	1	0	0	0	0
東京都立大学	0	1	0	0	0	0
横浜市立大学	0	1	0	0	0	0
防衛大学校	0	2	0	0	0	0
防衛医科大学校	0	0	0	0	1	2
国際教養大学	0	0	0	1	0	0
慶應義塾大学	19	41	24	34	41	31
早稲田大学	11	23	25	34	32	21
上智大学	7	17	11	17	12	16
東京理科大学	12	7	10	5	4	13
他大学	101	74	51	68	43	37

4つの教育目標

1

6年一貫教育を推進する。

6年間にステージ1(1年・2年)、ステージ2(3年・4年)、ステージ3(5年・6年)とし、ステージ1では学習の習慣づけに努めて基礎学力を養い、ステージ2では自主的学習態度の確立と基礎学力の充実強化をはかり、ステージ3では目標を明確にした上で学力の向上強化をはかり進学目標を達成させる。

2

道徳教育を教育の基礎と考え、その充実のために努力する。

日常生活規律の実行、ホームルーム活動等を中心に、学校のあらゆる教育活動を通して、近藤真琴先生の遺訓である「誠意・礼譲・質実剛健」の校訓の具体的実践をはかり、徳性を養う。

3

生徒の自主性を尊重し、自由な創造活動を重視して、これを促進する。

学習活動及び学友会、部活動等、生徒の諸活動における自主的、創造的活動を重んじ、その両立をはかる。

4

強健な体力、旺盛な気力を養う。

体育的諸行事、授業、保健活動等を中心に、体力、気力を養う。

カリキュラム

中学校					
学 年		1 年	2 年	3 年	小 計
教 科		授業時数	授業時数	授業時数	
国	語	6	6	5	17
社	会	4	4	4 (注1)	12
数	学	5	6	7	18
理	科	4	4	4 (注2)	12
音	楽	2	1	1	4
美	術	1.3	1	1	3.3
保 健 体 育		3	3	3	9
技 術 家 庭		2	2	1	5
外 国 語 (英 語)		5	5	5	15
道	徳	1	1	1	3
特 別 活 動		1	1	1	3
総合的な学習の時間		2	2	2	6
週当たりの総授業時数		36.3	36	27	107.3
(注1) 第3学年「社会」については高等学校学習指導要領（平成30年3月文部科学省告示第68号）に規定する「歴史総合(2単位)」の履修を含む（併設型中高一貫教育校の特例）。					
(注2) 第3学年「理科」については高等学校学習指導要領（平成21年3月文部科学省告示第34号）に規定する「生物基礎(2単位)」の履修を含む（併設型中高一貫教育校の特例）。					
課 外 授 業					
英	会	話	1	1	

☆・・・学校設定科目
]・・・いずれか1科目を選択(同様の記号はすべて同じ)
※1・・・いずれかの組み合わせを選択。
※2・・・歴史総合(2単位)は、中学校3年次に移行して指導(併設型中高一貫教育校の特例)

※3・・・生物基礎(2単位)は中学3年次に移行して指導(併設型中高一貫教育校の特例)
※4・・・文Iおよび文IIコース探究(地理・日本史・世界史)は、原則として高2次・高3次に継続して履修
※5・・・理Iおよび理IIコース物理・生物は、原則として高2次・高3次に継続して履修

高等学校

教科	科目名	標準 単位	1年		2年								3年							
					文 I		文 II		理 I		理 II		文 I		文 II		理 I		理 II	
			必修	必修 選択	必修	必修 選択	必修	必修 選択	必修	必修 選択	必修	必修 選択	必修	必修 選択	必修	必修 選択	必修	必修 選択	必修	必修 選択
国語	現代の国語	2	3																	
	論理国語	4			3		3				3		3		2				2	
	言語文化	2	3																	
	古典探究	4			3		3				2		3		4				3	
	☆国語演習	設											4		2					
	☆現代文読解	設							2											
	☆現代文演習	設															2			
	☆古典読解	設							2									2		
	☆古典演習	設																2		
	☆小論文	設												2		2				
地歴	地理総合	2	2																	
	地理探究	※4	3			3a	3			2		2	5		※1	4				
	歴史総合	※2	2																	
	日本史探究	※4	3										5		4					
	世界史探究	※4	3										5		4					
	☆地理演習	設			※1		5b	※1	4				3		※1			2		2
公民	公共	2	2																	
	倫理	2																		
	政治・経済	2							2		2		5							
	☆政治・経済演習	設											3		2			2		2
数学	数学Ⅰ	3	3			3		4		4		4								
	数学Ⅱ	4																		
	数学Ⅲ	3															4		3	
	数学A	2	3																	
	数学B	2							3		3		3	3						
	数学C	2															3		3	
理科	☆数学演習	設														2				
	物理基礎	2	2																	
	物理	※5	4							4		4					3		3	
	化学基礎	2	2																	
	化学	4							3		3						4		4	
	生物基礎	※3	2																	
	生物	※5	4							4		4					3		3	
	地学基礎	2			2		2											2		2
	地学	4																		
	☆生物演習	設			1		1													
	☆理科演習A	設											1		1					
	☆理科演習B	設											1			1				
保健体育	☆理科演習I	設															2		2	
	☆理科演習II	設																2		2
	体育	7	3		3		3		3		3		2		2		2		2	
	保健	2			1		1		1		1		1		1		1		1	
芸術	音楽Ⅰ	2		2																
	美術Ⅰ	2		2																
	書道Ⅰ	2		2																
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4																	
	英語コミュニケーションⅡ	4			4		4		4		4									
	英語コミュニケーションⅢ	4											4		4		4		4	
	論理・表現Ⅰ	2	2																	
家庭	論理・表現Ⅱ	2			3		3		3		2									
	論理・表現Ⅲ	2											3		3		3		4	
	家庭基礎	2			2		2		2		2									
情報	情報Ⅰ	2	2																	
	総合的な探究の時間	3	2																	
	ホームルーム	3	1		1		1		1		1		1		1		1		1	
	合計		34	2	26	8	30	4	28	6	28	6	26	0~8	31	0~3	27	0~10	33	0~4
			36		34		34		34		34									

年間行事予定

日	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	金		日		水	芸術観賞	金		月		木	始業式 下校訓練
2	土		月	創立記念日振替休日	木		土		火		金	第2回全統高2模試河合塾(5年) 自由研究発表クラス予選(1・2年) (1～6限)
3	日		火	憲法記念日	金		日		水		土	第3回PTA役員会
4	月		水	創立記念日 みどりの日	土	土曜学校説明会(3号館大教室)	月	期末試験	木		日	
5	火		木	こどもの日	日		火		金		月	第2回全統記述模試 河合塾(6年)
6	水		金		月	中間試験採点報告 点票提出(10:00)	水		土		火	基礎学力確認試験(1～4年)
7	木	教員研修	土		火		木		日		水	自由研究発表会本選 (2年=3,4限/1年=5,6限)
8	金	始業式 高校入学式	日		水	中間試験成績発表表 第2回保護者会(5・6年)	金		月		木	
9	土	中学校入学式 [自宅学習日]	月		木		土	上級救命講習会 [自宅学習日]	火		金	
10	日		火		金		日		水		土	
11	月	対面式 オリエンテーション第1日(1年) 第1回尿検査(配布)	水	総合防災訓練	土	第2回保護者会(1・2年) 授業参観(1・2年)	月	[自宅学習日]	木	山の日 [生徒登校禁止]	日	
12	火	オリエンテーション第2日(1年) 身分証写真撮影 第1回尿検査(提出)	木	第1回全統記述模試 河合塾(6年)	日	男子中フェスタ(芝中)	火	答案返還	金	[生徒登校禁止]	月	
13	水	全校生徒健康診断	金	第3回尿検査(配布)	月		水	[自宅学習日]	土	[生徒登校禁止]	火	
14	木	オリエンテーション 第3日・駒沢(1年)	土	PTA総会 第1回PTA役員会 第3回尿検査(提出)	火	第2回保護者会(3・4年) 授業参観(3年)	木	採点報告 [自宅学習日]	日	[生徒登校禁止]	水	
15	金		日	東京私立中学校相談会(国際F)	水		金	[自宅学習日]	月	[生徒登校禁止]	木	
16	土	Benesse学力推移調査(1年) 第1回保護者会(5・6年)	月		木		土	成績会議 [自宅学習日]	火	[生徒登校禁止]	金	校具移動(放課後) [平常授業]
17	日		火		金		日	第2回学校説明会(3号館大教室)	水	[生徒登校禁止]	土	輝玉祭 準備
18	月		水	大学入試結果検討会 耐久歩行大会事前指導	土	第2回PTA役員会 教育実習懇談会 第1回オープンスクール	月	海の日	木		日	輝玉祭 第1日
19	火		木	耐久歩行大会(中学) [こどもの国]	日		火	終業式	金		月	輝玉祭 第2日 敬老の日
20	水	学習者用ノートPC 使用ガイダンス(1～6年) 第1回保護者会(3・4年)	金	耐久歩行大会(高校) [こどもの国]	月		水	夏期講習(3～6年)	土	私立学校展(国際F)	火	輝玉祭 片付け・閉会式 [午後授業なし]
21	木		土		火		木		日		水	輝玉祭 第1日目 代休
22	金		日	第1回学校説明会(3号館大教室)	水	生徒総会	金		月		木	輝玉祭 第2日目 代休
23	土	第1回保護者会(1・2年)	月		木		土		火		金	秋分の日
24	日		火	[午前中授業]	金		日		水		土	
25	月	第2回尿検査(配布)	水	中間試験 教職員健康診断	土	受験なんでも相談会 (新宿住友ビル)	月		木	夏期講習・補習(1・2年)	日	
26	火	第1回全統共通テスト模試 河合塾(6年) 第2回尿検査(提出)	木		日	日能研私学フェア(青山学院)	火	臨海学校(2年)[戸田]	金		月	基礎学力確認試験採点報告
27	水	中学入試結果検討会 教育実習事前面談	金		月		水	林間学校(1年)[西湖畔]	土		火	
28	木		土	第1回本部委員会	火		木		日	第3回学校説明会(3号大教室)	水	基礎学力確認試験成績発表表
29	金	昭和の日	日		水		金		月		木	
30	土		月	第1回全統高2模試河合塾(5年) 教育実習(～6/18)	木		土		火		金	
31	－		火	第1回全統高1模試河合塾(4年)	－		日		水		－	

日	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	土	火	木	日	水	水
2	日	水	金	月	木	木
3	月	木	土	火	金	金
4	火	金	日	水	土	土
5	水	土	月	木	日	日
6	木	日	火	金	月	月
7	金	月	水	土	火	火
8	土	火	木	日	水	水
9	日	水	金	月	木	木
10	月	木	土	火	金	金
11	火	金	日	水	土	土
12	水	土	月	木	日	日
13	木	日	火	金	月	月
14	金	月	水	土	火	火
15	土	火	木	日	水	水
16	日	水	金	月	木	木
17	月	木	土	火	金	金
18	火	金	日	水	土	土
19	水	土	月	木	日	日
20	木	日	火	金	月	月
21	金	月	水	土	火	火
22	土	火	木	日	水	水
23	日	水	金	月	木	木
24	月	木	土	火	金	金
25	火	金	日	水	土	土
26	水	土	月	木	日	日
27	木	日	火	金	月	月
28	金	月	水	土	火	火
29	土	火	木	日	一	水
30	日	水	金	月	一	木
31	月	一	土	火	一	金

出身小学校一覧

東京都				
		1年	2年	3年
品川	小山			1
	京陽		2	
	第一日野	1	1	3
	第三日野			1
	第四日野	1	1	
	第二延山	3	1	1
	立会		1	7
	品川学園	2		
	戸越	2	2	
	大井第一	3		2
	鈴ヶ森		1	1
	御殿山	3	2	
	芳水		2	1
	城南			1
	城南第二	2		
	清水台	1		1
	旗台			1
	延山			1
	荏原平塚学園		1	2
	鮫浜		1	
	山中	1	1	
	小山台		1	
	伊藤		1	
	伊藤学園	1		
	源氏前	1		
目黒	東山	1	1	
	大岡山	1	2	5
	駒場	1		1
	不動		1	
	東根		2	
	碑	2	2	2
	油面		1	
	田道			1
	五本木		1	1
	烏森	1		1
	緑ヶ丘		1	
	鷹番			3
	下目黒	1	1	1
	向原		1	
	月光原	1		
	菅刈	1		
大田	八雲	1		
	松仙	1	1	1
	雪谷			1
	池雪			2
	山王	2	4	2
	久原	2	5	2
	赤松			2
	馬込	1	1	
	馬込第二	2	1	
	馬込第三		1	1
	田園調布			2
	小池	2	3	1
	大森第三		1	
	東調布第一		1	
	東調布第三	1		2
	矢口		2	1
	矢口西		1	
	矢口東		2	
	入新井第一	2	1	1
	入新井第二	1	1	
	入新井第四		1	1
	入新井第五	1		1
	千鳥		3	
	徳持	1		2
	梅田		2	1
	道塚		1	
	嶺町			3
	西六郷			1
	仲六郷			1
	高畑		1	
	おなづか		1	
	中萩中		1	
	開桜		1	
	出雲	1	1	
	相生		1	

		1年	2年	3年
大田	清水窪	2	1	
	洗足池	5	2	
	蒲田	1		
	多摩川	1		
	池雪	1		
	東糀谷	1		
世田谷	玉川	3	2	1
	東玉川		1	
	東深沢	1		1
	瀬田			1
	桜町		2	
	中町	1	1	
	山野		1	
	祐師谷		1	1
	希望丘			1
	玉堤	1		
	赤堤	1		1
	清水台	1		
渋谷	二子玉川	2	2	1
	弦巻			1
	船橋	1		
	京西	2	1	
	九品仏		2	
	尾山台	1	1	
	武蔵丘			2
	桜丘			1
	中丸		1	
	太子堂		1	
港	砧南		1	
	砧	1		
	松沢	1		
	代沢	1		
	用賀	1		
	加計塚		1	
	広尾		1	
	臨川			1
	千駄谷	1	1	
	富谷		3	
中央	中幡	1		
	鳩森	1		
	白金	1	1	1
	青南		1	
	港南	2	1	3
	高輪台		2	1
	本村		3	4
	赤坂		1	1
	芝	2	1	
	東町	1	2	
文京	お台場学園港陽	1		
	白金の丘学園	3		
	弁	2		
	落合第四		1	
	津久戸		1	
	牛込仲之			1
	四谷第六	1		
	天神			1
	麩日		1	1
	市谷	1		
新宿	関口台町		1	
	鷺籠町	1		
	駒本	1		
	窪町	1		
	千駄木	1		
	湯島	1		
	林町	1		
	豊海		2	1
	有馬	1		1
	明正	1		1
千代田	泰明	1		1
	月島第二	1		1
	月島第三		1	
	城東	1		
	和泉			1
	番町	1	1	1
	麹町		1	
	九段	1	1	

		1年	2年	3年
台東	浅草	1		
	松葉		2	
	田原	1		
江東	豊洲			1
	豊洲北	2		1
	明治		1	
	毛利			1
	平久	1		2
	南砂		1	
	有明西学園	1	1	
	第四砂町			1
	元加賀	1		2
	扇橋		1	
	東陽		2	
	数矢	1	1	
	豊洲西	1	2	
	第一亀戸		1	
	水神	1		
	南陽	1		
荒川	第三峡田		1	
	船橋	1		
足立	千寿第八	1		
	足立	1		
杉並	杉並第四			1
	新泉和泉	1	1	
	永福	1		2
	浜田山		2	
	高井戸第二	1		
	高井戸東	1		
	松庵	1		
	杉並第一	1		
	高島第三		1	
	成増		1	
板橋	桜川			1
	桜塚			1
	志村第一		1	
	王子第二			1
	東十条		1	
	高南			1
豊島	椎名町			1
	豊成		1	
	朋有		1	
	駒込		1	
練馬	千早	1		
	大泉東			1
	開進第三		1	
	豊玉		1	
中野	光和		1	
	開進第二	1		
	大泉学園	1		
	桃花	1	1	
	白桜		1	
	中野第一		1	
墨田	美鳩	1		
	緑			1
江戸川	立花吾嬢の森	1		
	西葛西	1		
	第三松江			1
	西一之江		1	
葛飾	清新ふたば			1
	第五葛西		1	
	金町			1
	小松南	1		
狛江	狛江第三		1	
	小山		1	
町田	鶴川第一		1	
	成瀬台	1		
三鷹	南第三			1
	鶴間			1
	つくし野	1		
	町田第一	1		
	第四			1
	高山	1		
調布	大沢台	1		
	第五	1		
	第三	1		
	布田			1
武蔵野	上ノ原			1
	大野田			1

		1年	2年	3年
国立	国立第四	1		
小金井	緑			1
	東			1
小平	小平第九	1		
府中	府中第三	1		
東久留米	第七	1		
多摩	多摩第一	1		
日野	潤徳	1		
国立	東京学芸大学附属世田谷	1		
	お茶の水女子大学附属			
	東京学芸大学附属大泉	1		
私立	品川翔英	2	2	
	日黒星美学園		1	3
	東京都市大学付属		1	
	聖ドミニコ学園		1	
	宝仙学園		1	
	武蔵野東			1
	国立学園	1		
	国本	1		
	聖学院	1		
	聖徳学園	1		
	文教大学付属	2		

Q 一般学級入試では、第1回と第2回入試の問題の難易度に差がありますか。また、入試問題の傾向について教えていただけますか。

A 科目によっては1回目より2回目のほうが多少難易度が高くなっていますので、過去問題を参考にしてください。また、出題傾向に関しては、本校の入試説明会で教科主任による説明をお聞きください。

Q 一般学級の試験では、第1回と第2回のほかに特別選抜という試験があるようですが、詳しく教えてください。

A 第1回・第2回試験が4教科あるのに対し、特別選抜は算数1教科の試験です。男子小学生の中には、「算数は一生懸命やるが、他教科はあまりやらない」などの理由で4教科受験に失敗してしまう子供もいるはずです。そのような子供たちに機会を与えて、入学してから他教科の力を伸ばし、4教科型で入学した生徒と同じ学力になるようにします。試験内容としては、算数の“基礎学力をみるための問題”と“応用力をみるための問題”に分かれています。

Q 第1回と第2回を続けて受けると有利になると聞きましたが、本当ですか。

A その通りです。第1回・第2回 同時出願で、両方とも受験する者を“熱望組”とします。“熱望組”の受験生は、合格最低点に達していない場合でも、ある範囲で点数をプラスし、合格最低点に到達すれば正規合格として発表します。(第1回の成績と第2回の成績でどちらか合格最低点に近い点を基準とします) 具体的には、第1回の合格最低点が180点で本人の成績が175点、第2回の合格最低点が190点で本人の成績が180点だったとして、仮に加算点をプラス5点とした場合、第1回の本人成績に5点を加えると合格最低点180点となるため、175点でも合格とします。(第2回の発表で合格とします) なお、加算する点は毎年変わりますし、この範囲も人数も毎年変わります。ちなみに2020年度入試における“熱望組”からの合格者は30人でした。

Q 補欠合格や繰上げ合格はあるのでしょうか。

A 毎年、合格者数が募集定員より多くなっています。これは、補欠合格も含めて合格者を出しているからです。一般的に補欠合格は定員に達していない場合に行うものですが、本校では、欠員になる数を予測して、すべて正規合格として発表しています。(入学手続き状況によっては、繰上げ合格を出す場合があります。)



Q 卒業生の子弟や在校生の弟が受験する場合、何か特典はありますか。

A 私立学校ですので、多少は考慮します。それは、卒業生が母校を良い学校であったと考えたからこそ子供や孫を受検させたということや、在校生の保護者が本校の教育方針にご賛同いただけたためと考えるからです。学力試験は公平であるべきだという原則を踏まえながら、第1回・第2回連続受験者でボーダーライン上にある場合は考慮します。

Q 一般学級の入学試験の時間帯と配点を教えてください。

A 2022年度入学試験における時間帯と配点は次の通りでした。なお、各教科別の合格基準点は設けておりません。

■第1回・第2回試験……………午前8時までに登校し試験場へ。

	1	2	3	4
時間帯	8:30~9:20	9:35~10:15	10:30~11:10	11:25~12:15
教科	国語(50分)	社会(40分)	理科(40分)	算数(50分)

	国語	算数	社会	理科	総点
配点	100点	100点	50点	50点	300点

■特別選抜試験……………午前8時までに登校し試験場へ。

算数1(50分)	8:40~9:30	算数2(60分)	9:45~10:45
----------	-----------	----------	------------

	算数1	算数2	総点
配点	50点	100点	150点

Q 国際学級の入学試験について教えてください。

A 国際学級の試験科目は、国語・算数2科目か英語1科目のどちらかを選んで受験してもらいます。英語については、英語検定試験の準1級から2級程度、国語・算数については、一般学級の試験問題に準じたレベルで出題します。大問の配置や出題ジャンルが一部異なり、一般学級入試の問題よりは解きやすくなっていますが、過去問題を参考にした学習も求められます。また、保護者同伴の面接では参考程度に、授業についていけるだけの日本語のコミュニケーション能力を確認します。2022年度入学試験における時間帯と配点は次の通りでした。

■国際学級試験……………午前8時までに登校し試験場へ。

		1	2	3
国語・算数受験	時間帯	8:30~9:10	9:25~10:05	10:20~
	教科	国語(40分)	算数(40分)	面接
英語受験	時間帯	8:30~9:30	9:45~	
	教科	英語(60分)	面接	

	国語	算数	総点	英語	総点
配点	100点	100点	200点	100点	100点

■2022年度 入学試験結果

	日程および募集人数			志願者数	受験者	合格者数	合格者最低点
国際	1月10日	40		国算 20	117	84	122
				英 20	70	52	50
一般	2月1日	第1回	100	4科	396	357	178
	2月2日	第2回	80	4科	590	346	184
特選	2月5日	20		算 20	158	98	32
	合計	240			1,331	937	465

■第1回入試科目別平均点（一般学級）

	国語	算数	社会	理科	合計
合格者平均点	69.6	60.7	33.1	37.6	200.9
受験者平均点	64.1	49.6	29.9	34.8	178.4
配点	100	100	50	50	300

■第2回入試科目別平均点（一般学級）

	国語	算数	社会	理科	合計
合格者平均点	73.1	65.1	37.6	38.6	214.4
受験者平均点	66.1	55.1	34.3	35.3	190.7
配点	100	100	50	50	300

■国際学級入試科目別平均点

	国語	算数	英語	合計	
合格者平均点	64.3	76.6	60.8	国算	140.9
				英	60.8
受験者平均点	56.5	64.5	51.1	国算	120.9
				英	51.1
配点	100	100	100	—	

Q 特待生制度があると聞きましたが、どのような制度ですか。

A 本校の特待生制度は、入学金と授業料免除の特典が与えられる制度です。一般学級入試では、第1回・第2回それぞれの試験における上位成績者を、また国際学級入試では、国語・算数、英語それぞれの試験の上位成績者を、それぞれ特待生として合格発表のときに発表します。特待生制度に関しては入試要項も併せてご覧ください。



入試要項

※2023年度の予定です。(最終決定は6月下旬頃になります)

一 般 学 級			
	第 1 回	第2回	特別選抜
募集人員	男子100名	男子80名	男子20名
試験科目	国語・算数 各50分／各100点 社会・理科 各40分／各50点	国語・算数 各50分／各100点 社会・理科 各40分／各50点	算数Ⅰ：50分／50点 Ⅱ：60分／100点
Web入力期間	2022年(令和4年) 12月20日(火)～ 2023年(令和5年) 1月29日(日) 正午(昼12:00)まで	2022年(令和4年) 12月20日(火)～ 2023年(令和5年) 2月 1日(水) 正午(昼12:00)まで	2022年(令和4年) 12月20日(火)～ 2023年(令和5年) 2月 4日(土) 正午(昼12:00)まで
出願期間	2023年(令和5年) 1月10日(火)～ 2023年(令和5年) 1月29日(日) 正午(昼12:00)まで	2023年(令和5年) 1月10日(火)～ 2023年(令和5年) 2月 1日(水) 正午(昼12:00)まで	2023年(令和5年) 1月10日(火)～ 2023年(令和5年) 2月 4日(土) 正午(昼12:00)まで
出願方法	① 出願に必要な情報を全てWebで入力し、受験料を納入してください。 ② ①の出願手続完了後、「受験票・写真票」を印刷してください。 ③ 試験当日は、「受験票」と「写真票」を切り離して持参してください。 ※事前に提出するものは一切ありません。※受験料納入後、受験料の返金はいたしません。※出身小学校の報告書等は必要ありません。 ご不明な点があれば、03-3493-0331 (代表) または03-3495-8160 (広報企画部) までお問い合わせください。		
受験料	24,000円	24,000円	12,000円
	※第1回・第2回を同時に受験した場合の受験料は、36,000円といたします。 ※第1回・第2回を同時に受験し、かつ両方受験されると「熱望組」としてボーダーラインを考慮します。		
入学試験日	2月1日(水)8:00集合	2月2日(木)8:00集合	2月5日(日)8:00集合
合格発表	2023年(令和5年) 2月1日(水) 19:00～	2023年(令和5年) 2月2日(木) 19:00～	2023年(令和5年) 2月5日(日) 18:00～
	合格発表専用サイトにて発表します。なお、電話によるお問い合わせには、一切お答えできません。		
入学手続	2023年(令和5年) 2月1日(水)～ 2月5日(日)15:00まで	2023年(令和5年) 2月2日(木)～ 2月5日(日)15:00まで	2023年(令和5年) 2月5日(日) 18:00～ 2月6日(月)15:00まで
	入学手続費用(入学金)の支払いをもって入学手続は完了とします。※締切を過ぎると、手続が一切できなくなりますのでご注意ください。 ■入学金:250,000円 ■支払い方法:クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー		

●特待生制度・・・第1回入試上位10名、第2回入試上位10名を特待生とし、入学金および1年次の授業料を免除します。なお、入学後も継続して成績上位の者は、中学2年生まで授業料免除とします。中学3年生以降は、一般学級・国際学級を合わせた中から新たに選考します。

●新入生登校日、新入生保護者説明会・・・2023年2月11日（土・祝）

■学費等学納金

学納金	月額納入額		一括納入金	
	授業料	35,000 円	学級費 40,000 円 (年1回・一括) PTA 入会金 1,000 円 (1年生のみ) 学友会入会金 3,000 円 (1年生のみ) 学友会会費 3,600 円 (年1回・一括)	
	維持費	8,400 円		
	冷暖房費	1,500 円		
	PTA 会費	800 円		
	合計	45,700 円		

※施設費・・・150,000円（1年入学時）(2年生以降は毎年65,000円を納入していただきます)
※寄付金・・・1口100,000円、2口以上何口でも結構です。
ただし、入学の条件にはいたしません。
※校外授業費・・・左記学納金以外に別途校外授業費がかかります。
※学費等学納金は今後の諸物価の変動により変更することもあります。
※2020年度のものです。

※2023年度の予定です。(最終決定は6月下旬頃になります)

国 際 学 級	
募集人員	男子40名＜国語・算数20名、英語20名＞
出願資格	原則として 1) 2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者。 2) 2023年1月1日現在で、継続して海外在住2年以上5年未満の者は、帰国後2年6ヶ月以内であること。継続して海外在住5年以上の者は、帰国後3年以内であること。 3) 個々の事情やケースについては個別にご相談ください。 【注意】 出願後「資格なし」と判明した場合、受験料の返金はありません。 また、合格後「資格なし」と判明した場合は、合格を取り消し、入学金の返金もできません。 該当しない方は、出願前に本校ホームページの「国際学級「受験資格」有無のご確認」からご相談ください。
Web入力期間	2022年(令和4年) 11月20日(日)～2022年(令和4年) 12月12日(月)正午(昼12:00)まで
出願期間	2022年(令和4年) 11月20日(日)～2022年(令和4年) 12月12日(月)正午(昼12:00)まで
出願方法	① 出願に必要な情報を全てWebで入力し、受験料を納入してください。 ② ①の出願手続完了後、「受験票・写真票」を印刷してください。 ③ 必要書類(下記の出願書類)を郵送してください。 ■ 郵送期間 2022年(令和4年) 11月20日(日)～ 2022年(令和4年) 12月14日(水) 郵送必着 ご不明な点があれば、03-3493-0331 (代表) または03-3495-8160 (広報企画部) までお問い合わせください。
出願書類	1) 写真票(切り離したもの) 2) 作文「海外生活で一番心に残ったこと」300字以上400字以内(鉛筆書き可) 3) 海外生活を証明する保護者の勤務先からの証明書(受験生含む)・・・1通 4) 身上書(本校指定の用紙)・・・1通 ※ 作文用紙、証明書、身上書は本校ホームページからダウンロードしてください。 ※ 勤務先からの証明書入手が困難な場合は、出願前にご相談ください。 ※ 出身小学校の報告書等は必要ありません。
受験料	24,000円
試験科目	国語・算数 (各40分／各100点) または 英語 (60分／100点)
面接	親子面接(保護者と受験生)
入学試験日	1月12日(木)8:00集合
合格発表	2023年(令和5年) 1月12日(木) 17:00～合格発表専用サイトにて発表します。
入学手続	2023年(令和5年) 1月12日(木) 17:00～ 1月13日(金) 15:00
	入学手続費用(入学金)の支払いをもって入学手続は完了とします。※締切を過ぎると、手続が一切できなくなりますのでご注意ください。 ■入学金:250,000円 ■支払い方法:クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー

●特待生制度・・・国語・算数入試上位2名、英語入試上位2名とし、入学金および1年次の授業料を免除します。なお、入学後も継続して成績上位の者は、中学2年生まで授業料免除とします。中学3年生以降は、一般学級・国際学級を合わせた中から新たに選考します。

●新入生登校日、新入生保護者説明会・・・2023年2月11日（土・祝）

■学費等学納金

学納金	月額納入額		一括納入金	
	授業料	35,000 円	学級費 40,000 円 (年1回・一括) PTA 入会金 1,000 円 (1年生のみ) 学友会入会金 3,000 円 (1年生のみ) 学友会会費 3,600 円 (年1回・一括)	
	国際学級指導費	10,000 円		
	維持費	8,400 円		
	冷暖房費	1,500 円		
	PTA 会費	800 円		
	合計	55,700 円		

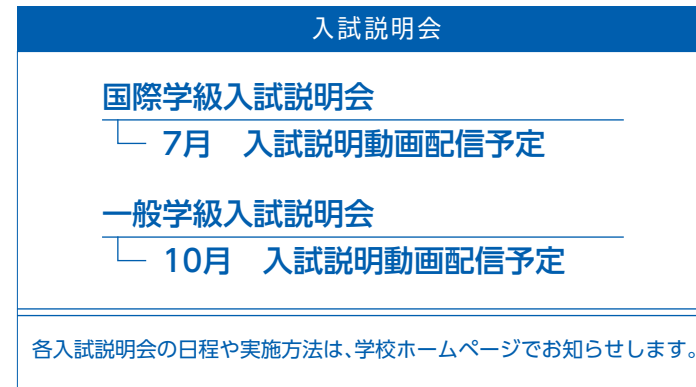
※施設費・・・150,000円（1年入学時）(2年生以降は毎年65,000円を納入していただきます)
※寄付金・・・1口100,000円、2口以上何口でも結構です。
ただし、入学の条件にはいたしません。
※校外授業費・・・左記学納金以外に別途校外授業費がかかります。
※学費等学納金は今後の諸物価の変動により変更することもあります。
※2020年度のものです。

(2022年3月23日現在)

■ 主な私立大学合格者数の推移			()内は現役数
大学名	2022	2021	2020
慶應義塾大学	78 (64)	123 (98)	77 (71)
早稲田大学	100 (84)	122 (107)	78 (68)
上智大学	26 (21)	51 (47)	35 (29)
東京理科大学	92 (68)	94 (64)	69 (54)
明治大学	108 (97)	118 (96)	121 (102)
立教大学	27 (23)	25 (17)	41 (33)
法政大学	38 (29)	42 (22)	38 (26)
中央大学	38 (30)	52 (44)	32 (26)
青山学院大学	33 (28)	38 (34)	31 (27)
学習院大学	5 (1)	6 (5)	11 (8)
その他私立大学	247 (167)	237 (153)	252 (185)
私立大学 合計	792 (612)	908 (687)	785 (629)

医学部医学科 合計	29 (11)	43 (34)	36 (28)
-----------	---------	---------	---------

(2022年4月～2023年2月)



※新型コロナウイルス感染症の影響で変更・中止の可能性もあります。
必ず学校ホームページでご確認ください。

第1回 5月22日(日)
第2回 6月 4日(土)
第3回 7月17日(日)
第4回 8月28日(日)
第5回 10月 9日(日)
第6回 11月19日(土)
第7回 12月18日(日)

11月26日(土)

